

4 気 象 (平成25年1月～12月)

1月：西高東低の冬型の気圧配置となる日や高気圧におおわれる日が多く、晴れの日が多かったが、14日は日本の南岸を急速に発達しながら通過した低気圧の影響で東京23区では大雪となり、東京（大手町）では日最深積雪8cmを観測した。また、28日は関東の東海上に進んだ低気圧の影響で一時雪となった。東京（大手町）の月平均気温は低く、月間日照時間と月降水量は多かった。

2月：西高東低の冬型の気圧配置となる日や高気圧におおわれる日が多く、晴れの日が多かったが、数日の周期で低気圧が通過したため、曇りや雨または雪の日もあった。2日から4日にかけては、日本海を発達しながら通過した低気圧に向かって暖かい空気が流れ込んだ影響で気温がかなり高くなった。東京（大手町）の月平均気温は低く、月間日照時間は平年並、月降水量は少なかった。

3月：短い周期で天気に変化したが、移動性高気圧におおわれることが多く、晴れの日が多かった。なお、1日は日本海の低気圧が発達しながら北東に進んだため、関東地方で「春一番」が吹いた。7日から10日にかけては南から暖かい空気が流れ込んだため気温が上昇した。特に10日は東京（大手町）で最高気温25.3℃を観測し、統計開始（1876年）以来最も早い夏日となった。また、3月としての日最高気温の高い方からの極値を更新した。18日から20日にかけても、南からの暖かい空気が流れ込んだため気温がかなり高くなった。なお、練馬では10日に最高気温28.8℃、19日に最高気温25.5℃と2度夏日を観測した。東京（大手町）の月平均気温はかなり高く、月間日照時間は多く、月降水量はかなり少なかった。

4月：日本付近を低気圧と高気圧が交互に通過したため、天気は数日の周期で変化した。2日から3日と6日から7日にかけては、低気圧や上空の寒気の影響で荒れた天気となった。特に6日は東京（大手町）で日降水量99.5mmを観測し、統計開始（1876年）以来4月としての日降水量の極値を更新した。なお、練馬では6日に日降水量62.5mmを観測した。中旬からは高気圧におおわれて晴れる日が多くなったが、低気圧の影響で曇りや雨の日があった。また、11日から13日と20日から23日にかけて、寒気の影響で気温が低くなった。なお、東京（大手町）の月降水量は283.0mmとなり、統計開始（1876年）以来4月としての月降水量の多い方からの極値を更新した。東京（大手町）の月平均気温は高く、月間日照時間は多く、月降水量はかなり多くなった。

5月：上旬は高気圧におおわれて晴れる日が多かったが、上空の寒気や前線の影響で雨や雷雨となった日もあった。中旬は日本付近を寒気を伴った気圧の谷と高気圧が交互に通過したため、天気は数日の周期で変わっ

た。東京（大手町）の月平均気温は高く、月間日照時間はかなり多く、月降水量はかなり少なかった。

6月：台風第3号や梅雨前線および低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。8日に発生した台風第3号の北上に伴い梅雨前線が北上し活動が活発になったため、関東甲信地方は10日頃、平年より2日遅く、昨年より1日遅く梅雨入りした。下旬の終わり頃は梅雨前線が関東甲信地方から離れ日本の南に停滞したため晴れる日があった。東京（大手町）の月平均気温は高く、月間日照時間、月降水量はいずれも平年並となった。

7月：上旬の前半は日本海や北陸沿岸に停滞した梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かったが、6日から14日にかけて高気圧におおわれたため晴れて気温がかなり高くなり、練馬では7日から12日にかけて6日間連続で猛暑日となった。なお、関東甲信地方は6日頃、平年より15日早く、昨年より19日早く梅雨明けした。中旬の中頃からは、東北地方に停滞した梅雨前線や低気圧および南からの湿った空気が流れ込んだ影響で曇りや雨の日が多くなり、14日、23日および27日は上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となって雷雨となった。特に23日は局地的に猛烈な雨が降り、練馬では1時間降水量23.5mmを観測した。東京（大手町）の月平均気温は高く、月間日照時間、月降水量はいずれも平年並となった。

8月：日本の南海上から西日本付近にかけて太平洋高気圧の勢力が強まり、晴れの日が多く気温も高くなった。10日は練馬で最高気温38.6℃を観測した。11日は東京（大手町）で日最低気温30.4℃を観測し、日最低気温の高い方から統計開始（1875年）以来の極値を更新した。12日は大気の状態が不安定となったため、練馬で1時間降水量49.0mmの激しい雨を観測した。下旬の初め頃から中頃にかけては気圧の谷や本州付近を南下した前線の影響で曇りや雨となった。特に21日夕方から夜遅くと26日夜遅くから27日未明にかけては、23区西部を中心に雷を伴った大雨となった地域があり、練馬では26日に1時間降水量25.0mmを観測した。東京（大手町）の月平均気温はかなり高く、月間日照時間は多く、月降水量は少なかった。

9月：高気圧におおわれて晴れの日が多くなったが、上空の寒気や前線および台風の影響で曇りや雨となった日もあった。4日から5日にかけてと8日は上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となったため雷雨となった。15日から16日にかけては台風第18号の影響で荒れた天気となり、練馬では15日に日降水量137.0mmを観測した。下旬の中頃は台風第20号から流れ込んだ暖かく湿った空気が前線の影響で曇りや雨となった。東京（大手町）の月平均気温は高く、月間日照時間はかなり多く、月降

水量は多かった。

10月：上旬は台風第22号や低気圧からの暖かく湿った気流の影響で曇りや雨の日が多くなった。また、3日と7日から10日にかけて気温がかなり高くなった。15日から16日にかけては、大型で強い台風第26号が関東地方沿岸に接近した影響で大荒れの天気となった。特に大島では24時間降水量824.0mmの記録的な大雨を観測し、大規模な土砂災害が発生した。練馬では16日に日降水量119.5mm、最大瞬間風速23.5m/sを観測した。21日から26日と29日は台風第27号や秋雨前線および気圧の谷の影響で曇りや雨となったが、その他の日は高気圧におおわれておおむね晴れた。東京（大手町）の月平均気温はかなり高く、月間日照時間は少なく、月降水量はかなり多かった。

11月：前半は高気圧と低気圧が交互に通過したため天気は数日の周期で変わり、3日から4日と7日は前線を

伴った低気圧が関東の南岸を通過した影響で雨となった。後半は西高東低の冬型の気圧配置や移動性高気圧におおわれておおむね晴れたが、25日は日本海の低気圧からのびる寒冷前線の通過により雨となった。なお、中旬前半は強い寒気の影響で気温が低くなり、11日には東京地方で「木枯らし1号」が吹いた。東京（大手町）の月平均気温は平年並、月間日照時間は多く、月降水量はかなり少なかった。

12月：西高東低の冬型の気圧配置となる日や高気圧におおわれる日が多く、晴れの日が多かったが、10日と18日から20日および26日夜から27日にかけては、本州の南岸を通過した低気圧の影響で雨となった。なお東京（大手町）では、15日に初霜、20日に初雪（平年より14日早く、昨年より25日早い）、29日に初氷を観測した。東京（大手町）の月平均気温は低く、月間日照時間と月降水量はそれぞれ平年並となった。

気温・降水量（平成25年）

区分	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
月平均気温	(°C)	3.7)	4.6	11.0	14.0	19.0	22.2	26.8	28.4	24.0	18.7	11.3)	6.3	15.8
平年値	(°C)	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///
月平均最高気温	(°C)	9.0)	9.7	16.7	19.4	24.6	26.6	31.8	33.7	28.6	22.3	16.5)	11.4	20.9
平年値	(°C)	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///
月平均最低気温	(°C)	-1.0)	0.2	5.8	8.6	14.3	18.9	23.2	24.3	20.2	15.6	6.8)	1.6	11.5
平年値	(°C)	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///
月降水量	(mm)	49.5	21.5	38.0	224.0	57.5	172.5	89.5	160.0	275.5	363.0	15.5)	61.0	1527.5
平年値	(mm)	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///

注：①観測地は東京管区気象台練馬地域気象観測所であるが、平成24年12月25日に練馬区豊玉上から練馬区石神井台に移設したため現在平年値はありません。

②月平均値は一日の平均気温、最高気温、最低気温を月ごとに平均した数値である。なお、一日の平均気温は毎正時（1時から24時）の気温を合計した値を24で割った値である。

③1月と11月の観測データに付加している記号「）」は、統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている値であることを示す。

調査：東京管区気象台